

令和2年度学校評価計画

令和2年5月14日
鳥取県立鳥取湖陵高等学校

1 目的

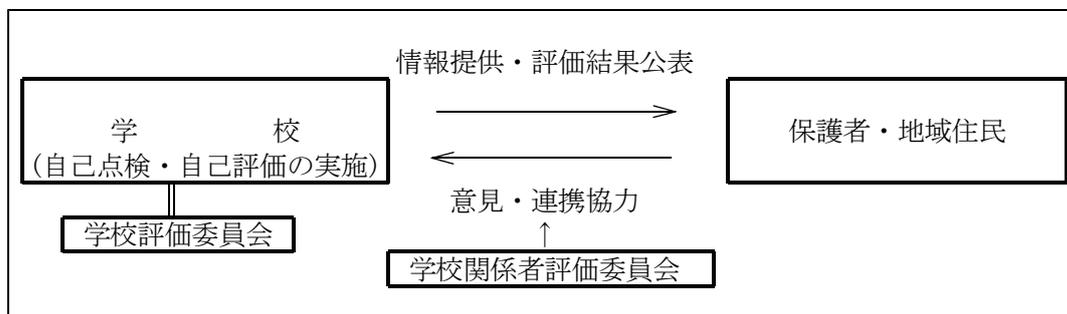
「生徒・保護者・地域から信頼され、地域に開かれた学校づくり」を目指し、生徒の学習状況や教育課程の実施状況、生徒指導上の課題などについて、自己点検・自己評価を実施し、学校運営や教育活動の改善に役立てる。

また、これらの自己点検や自己評価のねらいや結果を保護者や地域社会に説明し、外部の意見を取り入れるなどして、「信頼され、開かれた学校づくり」を推進する。

2 方法

- (1) 学校内に「学校評価委員会」を組織するとともに、全職員で学校評価に取り組む。
- (2) 生徒、保護者へのアンケートはもちろん、必要に応じて地域住民、企業などを対象としたアンケートを実施し、それらの結果を分析した上で本校への要望などをもとに、その使命を明らかにし、教職員がそれを共通に認識することによって学校の組織力と実行力を高める。
- (3) 県立学校の教職員以外の評価者によって構成された「学校関係者評価委員会」を設け評価の客観性を高めるための学校関係者評価を実施する。
- (4) 評価結果（自己評価・学校関係者評価・検証資料）を分析し、次年度に向けて教育内容の改善を図る。

3 学校評価の内容



4 学校評価体制

<基本的考え方>

既存の各分掌チェック機能を活用しながら、自己評価のための学校評価委員会を組織する。加えて、県立学校の教職員以外の評価者によって構成された学校関係者評価委員会を組織する。

<学校評価委員会の主な役割>

- 学校評価に関する企画、原案作成
 - ・学校評価全体計画
 - ・評価様式案作成（自己評価表、項目別評価表）
 - ・検証資料（成果指標・取組指標）の作成
 - ・評価結果公表資料作成
 - ・次年度改善案作成
- 評価結果の集計・分析
- 学校関係者評価委員会との連携協力

